



第1回 日ウクライナ教育・科学技術協力合同委員会 共同サマリー

ウクライナ キーウ 2024年7月29日

日本国文部科学省とウクライナ教育科学省との間の教育及び科学技術分野における協力覚書に従い、日ウクライナ教育・科学技術協力合同委員会（以下「合同委員会」という。）の初会合が、2024年7月29日にウクライナのキーウで開催された。

合同委員会は、ウクライナ教育科学大臣オクセン・リソヴィー氏と文部科学大臣盛山正仁氏が共同議長を務めた。

合同委員会では、2024年2月19日に東京で開催された日ウクライナ経済復興推進会議において岸田文雄総理が表明した「日本ならではの貢献」を評価し、教育及び科学技術による長期にわたるウクライナ復興に焦点が当てられた。

日本とウクライナの双方は、

- 1 協力の発展に対する相互の関心を認識しつつ、教育及び科学技術分野におけるウクライナと日本の対話の重要性を共有した。
- 2 日本とウクライナ間の学術交流を促進し、双方の学生や研究者の相互流動性を高める方策について議論した。
- 3 ウクライナの学生に対し、日本で日本語、日本文化及び科学技術分野を学ぶ機会を提供し、できるだけ速やかに、双方の関心事項を提供する流動性メカニズム案を交換することで一致した。
- 4 ウクライナが復興を成し遂げ、活力を取り戻すことは、両国にとって、そして国際社会全体の利益となることを再確認した。
- 5 官民連携によるウクライナの子供たちへの支援策を含め、次回の合同委員会までに教育及び科学技術分野のプロジェクト・リストを作成し、プロジェクトの承認や相互利益の更なる享受を目指す意向を確認した。
- 6 適切な時期に、日本が次回の合同委員会を主催することに一致した。

盛山正仁
日本国文部科学大臣
2024年7月29日

オクセン・リソヴィー
ウクライナ教育科学大臣
2024年7月29日